

第3号様式（第8条関係）

該当する箇所を記入してください。  
記入例では、朱書き部分となります。

令和2年〇〇月〇〇日

福島県知事 様

申請者名、口座名義人の氏名は同一としてください。

住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号  
(法人にあつては、事業所の所在地)

個人が申請する場合は私印、法人が申請する場合は代表者印を押印してください。

氏名 移住 太郎 (印)  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

法人が申請する場合は、担当者名まで忘れずに記載してください。

電話番号 〇〇〇-×××-△△△  
担当者職・氏名 (法人の場合のみ)

ふくしま「テレワーク×くらし」体験支援補助金  
実績報告書

令和2年度において、下記のとおり標記事業を実施したので、福島県補助金等の交付等に関する規則第13条第1項により、その実績を報告します。

記

1 補助金の交付決定額及びその実績額

補助金交付決定額 ×××××× 円

補助金実績額 〇〇〇〇〇〇 円

【注意】  
補助対象経費が2割以上減となるなど、変更申請が必要な場合は、記載する金額の考え方も変わりますので、事前にご相談ください。

交付決定された額を記載

2 実施事業

ふくしま“じっくり”体験コース【長期】

ふくしま“ちょこっと”体験コース【短期コース】

テレワークで“つながる”奨励金

※該当するものにチェックしてください。

【注意】  
補助金実績額欄には、実際にかかった経費の総額ではなく補助金額（補助率をかけた額）を記載してください。  
※実績額は必ず上欄の交付決定額以内となります。

3 事業実施期間

令和2年 〇〇月 〇〇日 ～ 令和2年 〇〇月 〇〇日

福島県に最初に訪れた日～福島県を最後に離れた日

【添付書類】領収書

※宛名（申請者名で）、利用日、金額、但書を記載のこと

別紙様式 3 - 1

事業実績報告書（ふくしま“じっくり”体験コース【長期コース】）

1 実施概要

本県での滞在期間	令和2年〇〇月〇〇日 ~ 令和2年〇〇月〇〇日 ※複数回に分けて実施した場合は、全て記載してください。
テレワーク実施期間	令和2年〇〇月〇〇日 ~ 令和2年〇〇月〇〇日 ※複数回に分けて実施した場合は、全て記載してください。
テレワークの実施場所 （施設名、住所等）	コワーキングスペース福島（〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号）
テレワーク中の滞在場所 （施設名、住所等）	ホテルふくしま（〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号） ゲストハウス福島移住（〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号）

2 費用支払実績

経費区分	内 訳 (明細)	事業に要した経費 (A) (注1)	(A)のうち申請者が負担していない経費 (B) (注2)	補助対象経費 (A - B)
①宿泊費	ゲストハウス福島移住 5,000円×9泊	75,000	45,000	30,000
	ホテルふくしま 10,000円×3泊			
②住居賃料				
③交通費	東京駅～福島駅間 8,580円×4回	34,320	17,160	17,160
④施設利用料	コワーキングスペース 福島 500円×12日	6,000	0	6,000
⑤レンタカー代	レンタカー代 (月額) 70,000円	70,000	0	70,000
⑥引越費用				
補助対象経費合計額 (C)				123,160
補助金交付申請額 (Cの3/4、千円未満切り捨て) ※但し、30万円を超える場合は30万円とすること。				92,000

【注意】

飲食代は補助対象外です。  
例えば朝食込のプランをご利用になった場合は、宿泊費と朝食費を分けて領収書を発行してもらってください。

(注1)「事業に要する経費 (A)」は、補助事業実施期間内に生じる経費全体額

(注2)「(A)のうち申請者が負担していない経費 (B)」は、正規雇用者が申請者の場合は、対象法人から支給される旅費や通勤手当等を指し、対象法人が申請者の場合は、勤務者が負担する費用を指す。

### 3 事業実績

#### (1) テレワーク中の主な業務内容

【添付書類】業務をしたことが分かる資料  
例：委託契約書、デザインしたもの、記事…

オンライン会議、HPデザイン、動画編集、記事執筆…

#### (2) テレワーク中に関わった県内企業や個人事業主、福島県移住コーディネーターと、その主な目的（例：商談、開発相談、情報収集、移住相談等） ※該当ある場合

××している〇〇さんから△△について情報収集  
□□会社と連携の相談…

#### (3) テレワーク中に参加した県主催（共催）イベント、セミナー等の名称 ※該当ある場合

〇〇日に@@で開催していた「□□」イベントに参加…

#### (4) SNS等で発信した県内のテレワーク環境や福島の魅力

使用ツール(Facebook, Instagram 等)	Twitter (アカウント名)
現地で食べたものについて写真付きで紹介 テレワーク施設の利用環境について紹介	

【添付書類】SNS等で発信したことが分かる画面の写し

福島県知事 様

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明日（記入日） 令和2年〇〇月〇〇日

証明者 法人名・所属 テレワーク移住促進株式会社

職・氏名 人事課長 移住 太郎

(担当者 所属 人事課 氏名 移住 次郎 電話 024-×××-△△△ )

証明者は、人事担当課長を想定しておりますが、証明権限のある方であれば、他の方でも構いません。

移住

※証明内容等の確認のため、県から勤務先に直接ご連絡させていただくことがございます。

【添付書類】業務をしたことが分かる資料  
例：委託契約書、デザインしたもの、記事…

別紙様式 3 - 2

事業実績報告書（ふくしま“ちょこっと”体験コース【短期コース】）

1 実施概要

本県での滞在期間	令和2年〇〇月〇〇日 ~ 令和2年〇〇月〇〇日 ※複数回に分けて実施した場合は、全て記載してください。
テレワーク実施期間	令和2年〇〇月〇〇日 ~ 令和2年〇〇月〇〇日 ※複数回に分けて実施した場合は、全て記載してください。
テレワークの実施場所 （施設名、住所等）	コワーキングスペース福島（〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号）
テレワーク中の滞在場所 （施設名、住所等）	ゲストハウス福島移住（〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号）

2 費用支払実績

経費区分	内 訳 (明細)	事業に要する経費 (A) (注1)	(A)のうち申請者が負担していない経費 (B) (注2)	補助対象経費 (A-B)
①宿泊費	ゲストハウス福島移住 5,000円×4泊	20,000	10,000	10,000
②住居賃料				
③交通費	東京駅～福島駅間 8,580円×2回	17,160	8,580	8,580
④施設利用料	コワーキングスペース 福島 500円×3日	1,500	0	1,500
⑤レンタカー代				
補助対象経費合計額 (C)				20,080
補助金交付申請額 (Cの9/10、千円未満切り捨て) ※但し、補助金上限額 (1万円/泊) を超える場合は補助金上限額とすること。				18,000

【注意】  
飲食代は補助対象外です。  
例えば朝食込のプランをご利用になった場合は、宿泊費と朝食費を分けて領収書を発行してください。

(注1)「事業に要する経費 (A)」は、補助事業実施期間内に生じる経費全体額

(注2)「(A)のうち申請者が負担していない経費 (B)」は、正規雇用者が申請者の場合は、対象法人から支給される旅費や通勤手当等を指し、対象法人が申請者の場合は、勤務者が負担する費用を指す。

### 3 事業実績

#### (1) テレワーク中の主な業務内容

【添付書類】業務をしたことが分かる資料  
例：委託契約書、デザインしたもの、記事…

オンライン会議、HPデザイン、動画編集、記事執筆…

#### (2) テレワーク中に関わった県内企業や個人事業主、福島県移住コーディネーターと、その主な目的（例：商談、開発相談、情報収集、移住相談等）

※該当ある場合

××している〇〇さんから△△について情報収集  
□□会社と連携の相談…

#### (3) テレワーク中に参加した県主催（共催）イベント、セミナー等の名称

※該当ある場合

〇〇日に@@で開催していた「□□」イベントに参加…

#### (4) SNS等で発信した県内のテレワーク環境や福島の魅力

使用ツール(Facebook, Instagram 等)	Twitter (アカウント名)
------------------------------	------------------

現地で食べたものについて写真付きで紹介  
テレワーク施設の利用環境について紹介

【添付書類】SNS等で発信したことが分かる画面の写し

福島県知事 様

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明日（記入日） 令和2年〇〇月〇〇日

証明者 法人名・所属 テレワーク移住促進株式会社

職・氏名 人事課長 移住 太郎

(担当者 所属 人事課 氏名 移住 次郎 電話 024-×××-△△△ )

証明者は、人事担当課長を想定しておりますが、証明権限のある方であれば、他の方でも構いません。

移住

※証明内容等の確認のため、県から勤務先に直接ご連絡させていただくことがございます。

第4号様式（第10条関係）

該当する箇所を記入してください。  
記入例では、朱書き部分となります。

令和2年〇〇月〇〇日

福島県知事 様

申請者名、口座名義人の氏名は同一としてください。

住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号  
(法人にあつては、事業所の所在地)

個人が申請する場合は私印、法人が申請する場合は代表者印を押印してください。

氏名 移住 太郎 (印)

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

法人が申請する場合は、担当者名まで忘れずに記載してください。

電話番号 〇〇〇-×××-△△△

担当者職・氏名 (法人の場合のみ)

ふくしま「テレワーク×くらし」体験支援補助金交付請求書

令和〇年〇〇月〇〇日付け福島県指令地づ第〇〇号で交付決定のあった令和2年度ふくしま「テレワーク×くらし」体験支援補助金について、下記により金〇〇〇〇〇円を交付して下さるよう請求します。

記

1 交付決定事業

- ふくしま“じっくり”体験コース【長期コース】
- ふくしま“ちょこっと”体験コース【短期コース】
- テレワークで“つながる”奨励金

※該当するものにチェックしてください。

【注意】  
交付決定通知の右上に記載されている日付、通知番号を記載してください。  
※ただし、変更申請対象の方は、変更申請後の変更申請承認通知に基づき記載。

2 請求額等

交付決定額 又は交付確定額	〇〇〇〇〇円
今回請求額	〇〇〇〇〇円

【注意】  
「様式第3号 実績報告書」中の「1 補助金の交付決定額及びその実績額」の補助金実績額と同額を上段と下段の両方に記載。

第5号様式（第14条関係）

該当する箇所を記入してください。  
記入例では、朱書き部分となります。

令和2年〇〇月〇〇日

福島県知事 様

申請者名、口座名義人の氏名は同一としてください。

住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号  
(法人にあつては、事業所の所在地)

個人が申請する場合は私印、法人が申請する場合は代表者印を押印してください。

氏名 移住 太郎 (印)

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

法人が申請する場合は、担当者名まで忘れずに記載してください。

電話番号 〇〇〇-×××-△△△

担当者職・氏名 (法人の場合のみ)

ふくしま「テレワーク×くらし」体験支援補助金における  
仕入れに係る消費税相当額報告書

令和〇年〇〇月〇〇日付け福島県指令地づ第〇〇号で交付決定のあった令和2年度ふくしま「テレワーク×くらし」体験支援補助金について、ふくしま「テレワーク×くらし」体験支援事業交付要綱第14条第1項の規定に基づき、下記により報告します。

記

補助金の額の確定額	×××××円
補助金の確定時に減額した仕入れに係る消費税相当額 (A)	△△△円
消費税の申告により確定した仕入れに係る消費税相当額 (B)	□□□□円
補助金返還相当額 (B - A)	〇〇〇〇〇円